

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	村田 知子

開催日時	令和6年2月3日(土) 9:30~11:10
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室
出席者(委員)	中西 進泰(会長)、松下 寛史(副会長)、菊地 栄治(委員)、塚本 佳秀(委員)、浅岡 美和(委員)、奥田 綾子(委員)
出席者(学校)	校長、事務長、教頭2名、首席1名、教諭2名、実習教員1名
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度学校経営計画及び学校計画(中期的目標について)、学校教育自己診断(教職員用・保護者用・生徒用・比較資料)、エンパワメントスクール 3年次末アンケート(集約・比較資料)、総合学科 卒業生アンケート 結果集計

議題等(次第順)	
○令和6年度学校経営計画について(令和5年度学校経営計画の評価について)	
○学校教育自己診断の結果について ○第3学年 卒業時アンケート結果について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
○令和6年度学校経営計画について(令和5年度学校経営計画の評価について)	
○学校教育自己診断の結果について	
<校長・教頭より> 資料の説明 <委員より> ・保護者の調査回答数が減少したとのことだが、特に不満がなく、そこそこの満足な状態の家庭はなかなか調査に回答してくれないのでは。また、生徒に渡した学校からの連絡用紙が保護者に届かないこともあるだろう。 ・中高連絡会を実施していることはよい取り組み。今後も中学校との連携を強化していくべき。 ・人権問題、差別事象について、学校で指導があったとしても、家庭において保護者の影響も大きい。家で親の発言を聞いているので、子どもも言う。保護者に対しても啓発活動が必要か。学校で取り組んだ人権学習をHP等で発信してはどうか。 ・大人からは見えないいじめ、見えない差別をキャッチできるようこれからも生徒と関わってほしい。 ・HPの閲覧数が減少しているが、コロナ関連の連絡が減り、HPを閲覧する機会が減ったからか。 ・コロナが5類に移行されたが、学校行事等が完全に元の状態には戻っていない。今後も工夫が必要。 ・さくら連絡網について、登録作業、操作方法がマニュアルだけでは難しい部分もある。 ・教職員について、どこの学校でも同じだろうが、ミドルリーダーの育成や経験年数の少ない教員の育成が重要。 ・来年度の学校経営計画について、新たな項目が増えているため、学校の意欲を感じることができた。	
○第3学年 卒業時アンケート結果について	
<首席より> 資料説明 <委員より> ・自由記述欄に、友人と教員に対する感謝が多く書かれていた。これまでにはなかったのでは。 ・自己評価が低い子どもが多いと言われる中、このアンケートでは自己評価が高い。先生のおかげか。	
○令和6年度 学校運営に関する基本的な方針(学校経営計画の「めざす学校像」「中期的目標」)の承認	
○中西会長より	
・学力の向上だけが教育ではない。布施北高校の地域連携というアイデンティティを今後も大切に。地域学校協働本部とも連携を取りながら、今後も布施北高校を盛り上げてほしい。	

次回の会議日程	
日 時	令和6年6・7月
会 場	大阪府立布施北高等学校